

シンポジウム

「地域における冬季スポーツ競技力向上システム」

2009 年国民体育大会を控えた新潟県内の取り組みや、各地域で育った日本トップクラス選手的环境を紹介し、各地域の共通点や特殊性から効果的な競技力向上システムを考える。

○司 会

- ・塩野谷 明（長岡技術科学大学）
- ・三浦 哲 （新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター）

第 1 部 トップ選手から見た地域の競技力向上環境

選手は地域で育まれることから、日本のトップクラスで活躍した選手に各地域でのトレーニング環境等（場所・指導者・医科学サポート体制）について紹介する。

○シンポジスト

- ・渡辺靖彦（アルペンスキー・チームアルビレックス新潟）
 - ‘03-04FIS Far East Cup ランキング総合4位
 - ‘06 第 84 回全日本スキー選手権大会大回転5位
 - ‘06 国民体育大会 成年男子A大回転3位
- ・関塚真美（アルペンスキー・チームアルビレックス新潟）
 - ‘06トリノオリンピック女子回転38位
 - ‘06全日本選手権大会女子回転優勝
 - ‘07世界選手権大会女子回転35位
- ・堀米光男（クロスカントリースキー・株式会社小賀坂スキー製作所）
 - ‘94ジエール世界選手権大会 30km フリー優勝、リレー優勝、10km クラシカル3位
 - ‘98長野オリンピック 40 キロリレー7位
 - ‘00ワールドカップ（スイス・オーベルゴムス）10km フリー7位
 - ‘94・‘98・‘02 オリンピック日本代表

第 2 部 地域における冬季スポーツ競技力向上システム

新潟県では 2009 年総合国体を開催することから、スポーツ振興を進めており、新潟県内各関係団体の競技力向上システムの取り組みを紹介する。

○シンポジスト

- ・岸 一成（新潟県スキー連盟競技本部クロスカントリー部長）
- ・平井俊雄（盛田スポーツ振興財団事務局長）
- ・山谷 剛（チームアルビレックス新潟社長）